

パーフェクトボート

海とボート&ヨットのスタイルマガジン

Perfect BOAT & YACHT

YACHT CAR TRAVEL WATCH FASHION CUISINE LIFESTYLE

JAPAN INTERNATIONAL BOAT SHOW 2021

6
JUN 2021



AXOPAR 37 XC Cross Cabin / REGAL 33 OBX / TARGA 30.1 Fishing Custom / Toma Awning

■トップセイルズアンドカンパニー



BAVARIA R40 Fly

■アジムットヨットジャパン



AZIMUT 60 Flybridge



BERTRAM 61 Convertible

■トーハツ



TOHATSU 23X



SESSA Fly 42



EDGE WATER 280 CC



ショー初日の4月15日にラグジュアリーな横浜ショールームをGrandオープンしたアジムットヨットジャパンにて、「AZIMUT 60 Flybridge」、スポーツフィッシャーの雄「BERTRAM 61 Convertible」、センターコンソールの「EDGE WATER 280 CC」、「SESSA Fly 42」の4モデルが披露された。

■湘南サニーサイドマリーナ



AZIMUT 60



PRINCESS 50

湘南サニーサイドマリーナは上質なセカンドハンドの「AZIMUT 60」、「PRINCESS 50」を展示。



■リビエラリゾート



CRANCHI E56F Evoluzione

CRANCHI E56F Evoluzione



CRANCHI T43 Trawler



SWAN 34 / SWAN 48

イタリアCRANCHIの3モデルを出展したリビエラリゾート。仕様の異なる2モデルの「E56F Evoluzione」はカラーの違いも新鮮。「T43 Trawler」は新世代のセントローラーだ。さらにフィンランドの老門ラグジュアリーヨットNAUTOR'S SWANの「34」と「48」も登場。気流に合わせた存在感を放つ。さらに高級のLAND ROVERも用意され、ラグジュアリーなホスピタリティを醸成させた。

るでスーパーカーショーのよう。輸入車インポーターの、ボートショー来場者の属性への理解が、一気に広まったようだ。

コロナ禍の現在、世界的にボートの需要は拡大を続けている。主催者の日本マリン事業協会によれば、米国でもボートを初めて購入するカスタマーが増えており、世界的に底辺拡大と活性化が進み、ボートの供給が追いつかない状況もあるという。日本も例外ではなく、30～50代のボート免許取得者は増加中で、底辺拡大に繋がっており、今後の需要増加が期待されている。また実際には、昨年の日本のマリーナ稼働率が上がって

るというデータも発表されている。

こういった状況を反映し、今年のジャパン インターナショナル ボートショーは、従来よりカスタマー重視の傾向がより強いイベントとなった。4月中旬の開催は、シーズン直前であり、気候もベストなタイミング。実際今回のボートショーでは、ゴールデンウィーク前に即納可能な展示艇も目立っていた。コロナ禍で急遽一箇所開催となったため、主催者にも出展社にも様々なご苦労があったことと思うが、いちボートユーザーの視点から見れば、見応えに富んだ素晴らしい「リアル」ボートショーだった。PB.